

図書館においでよ！

【2025年 5・6年生用】



いよいよ夏休み！ 図書館を利用しましょう！！



図書館に新しく入った本を しょうかいします！



本の題名	著者名	出版社
『ビジュアル図鑑戦国武将』	小和田 泰経／監修	カンゼン
120人以上の戦国大名とその家臣の所属、出身地、生没年、経歴、主要なエピソードなどを、イラストや能力データとともに紹介します。		
『細胞って何だろう？ 生命のひみつをさぐる』	小林 武彦／監修	PHP研究所
人体は、約200種類・37兆個の細胞でできています。細胞のしくみ、はたらきと能力などについて、イラストや写真を交え解説します。		
『ぼくへのレファレンス 』（物語）	岩崎 まさえ／作	国土社
図書館での職場体験で、江戸時代の古文書を見たり。謎の少年から、不思議な形の記号に関するレファレンスを受け、調べ始めます。		
『トクベツキューカ、はじめました！ 』（物語）	清水 晴木／作	岩崎書店
1年の中で1日だけ、好きな日に学校を休んでもいいという「特別休暇」がある学校に通う小学生たちをえがいた短編集です。		
『読書感想文が終わらない！ 』（物語）	額賀 滯／作	ポプラ社
夏休み、学校の図書室で「フミちゃん」という女子中学生に出会うことで、読書感想文を書くコツを知る小学生たちの物語です。		

しょうかいした新しく入った本は、夏休みに読んでみようく5・6年生用＞のコーナーにあります。貸出中の場合は予約できます。



電子図書館サービスが利用できます



電子図書館は、インターネットを通じて、パソコンやスマートフォン、タブレットから、いつでも電子書せきが利用できるサービスです。むらさき色の図書利用券を持っていれば、だれでも利用できるようになっています。通信料がかかるので、おうちの人に利用してもよいかをかくにんしてから始めてください。

利用者ID：図書利用券の7けたの数字
パスワード：西暦の生年月日8けたの数字
(例：平成25年8月3日生まれ→20130803)



←電子図書館
QRコード



＜電子図書館で読むことができる本の一部＞

本の題名	著者名	出版社
かくれた「わたし」を見つける！心理テストBook	はびらるガール編集部／編 こまた しいな／マンガ	池田書店
1日10分日本地図をおぼえる本 小学生版	あきやま かせさぶろう／作	白泉社
算数ひみつの7つ道具 小学校で習う計算が5秒で解ける	あきとんとん／著	かんき出版
全国クセすご水族館図鑑	さかなのおにいさんかわちゃん ／著	中央公論新社
かくれた能力を見つける！キミだけのすごい脳のヒミツ	加藤 俊徳／著	KADOKAWA

夏休みに大かつやくの本

調べることはハッキリしているけど、どの本で調べたらいいのかわからないという時には、図書館の人に聞いてください。たくさんある本の中から、参考になるものをしょうかいします。

自由研究の本

学年別・テーマ別の自由研究の本がそろっています。



読書感想文の本

課題図書だけでなく、どんな本でもかけます。

(教科書・雑誌・まんがなどはのぞく)

※課題図書は自分の図書利用券で、1さつ2週間の貸し出しです。(延期はできません)



図書館のやくそく

◆図書館では…

- 静かにしましょう。
- 熱中症予防のため、ペットボトル・水とうなどフタつき容器の飲み物は持ちこめます。本をよごさないよう注意し、つくえの上においたままにしないでください。

◆本などをかりるとき…

- かならず図書利用券をもってきましょう。
- 図書利用券を友だちにかしたり、友だちの本をかりてあげることはできません。
- 本・紙芝居・雑誌は何さつでも2週間かりられます。
- CD・DVDなどは、あわせて2点まで2週間かりられます。
- かりた本などは、かえす日を守りましょう。
- 図書館の本などはみんなのもので。大切にしましょう。



読書手帳をつくろう！



「読書手帳」とは、自分が読んだ本について、題名や書いた人の名前、感想などを書くための読書の記録ノートです。1冊終わると、図書館オリジナルのシールがもらえます。6冊集めると、1冊の本にすることができます。あなただけの世界で1冊だけの本です。「読書手帳」は、図書館のカウンターでおわたししています。

図書館は、午前9時から午後5時まで開館しています。祝日をのぞく、水曜日・金曜日は、午後7時まで開館しています。こどもだけで来た時は、5時まで帰りましょう。
7月・8月のお休みは、毎週月曜日、7月31日(木)、8月29日(金)です。

発行 八街市教育委員会教育部図書館 043-444-4946 (電話は、午前9時から午後5時まで)

<https://www.library.yachimata.chiba.jp/>

妖怪一家九十九さん

富安 陽子／作 山村 浩二／絵 理論社

大勢の妖怪が住む化野原に、団地が作られ始めました。妖怪を代表してヌラリヒョンが、工事の中止を求めて市役所に行きました。すると、担当者から、妖怪達も、団地に住むことを提案されました。そこで、ヌラリヒョンは、団地の地下に、ろくろっ首など7人で、家族のように住むことにしました。



赤いカブトムシ

那須 正幹／作 見山 博／絵 日本標準

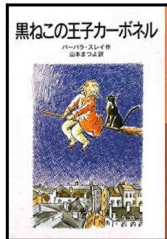
5年生の茂の趣味は昆虫採集です。夏休みの終わりに、公園のクヌギの木であざやかな赤い色をしたオスのカブトムシを見つけました。図鑑にもっていないこのムシは新種かも？オスとメスがそろそろと新種とみとめてもらえるので、6年生になった茂は赤いカブトムシのメスを探し始めます。



黒ねこの王子カーボネル

バーバラ・スレイ／作 山本 まつよ／訳 大社 玲子／さし絵 岩波書店

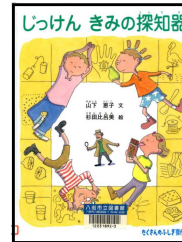
10才の女の子ロージーは、夏休みになっても出かける予定がありません。そこで、そうじの仕事をしようと、ほうきを買いに市場へ行き、魔法のほうきと黒ねこを手に入れました。黒ねこは魔法にさらわれたねこの国の王子で、逃げられないように魔法がかけられていました。ロージーは、何とか、その魔法を解こうと決心します。



じっけん きみの探知器

山下 恵子／文 杉田 比呂美／絵 福音館書店

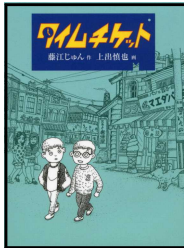
人の身体には、色んな探知器があります。例えば、味の探知器。味は舌で感じますが、目かくしをして、鼻をつまんでジュースを飲むと、リンゴやオレンジなどの味の違いがわかりにくくなります。でも、目かくしをしてもおいかけばわかります。においも味として感じているのです。耳や目、皮ふなどの探知器の働きを、実験で試してみましょう。



タイムチケット

藤江 じゅん／作 上出 慎也／画 福音館書店

マサオは、めずらしい電車のキップを集めることが趣味で、昭和44年4月4日のキップがほしくてたまりません。ある日、マサオは、未来や過去へ時間旅行ができる「タイムチケット」と書かれた紙を拾います。試しにその紙に、昭和44年4月4日の日付を記入してみると…。マサオはキップを手に入れられるでしょうか？



ユウキ

伊藤 遊／作 上出 慎也／画 福音館書店

ケイタは、転校・転入の出入りが多い小学校に通っています。ケイタが入学して以来、親友になった転入生の名前は、不思議なことに3人ともユウキでした。でも、みんな仲良くなっても、また転校していってしまいました。そして、6年生になってユウキという名前の転入生が来ることを期待しているケイタの前に、4人目のユウキが現れました。



チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール／著 柳瀬 尚紀／訳 クエンティン・ブレイク／絵 評論社

チャーリーは家がとても貧乏で、いつもおなかをすかせていました。家の近くには、ワンカ氏の、世界一大きいチョコレート工場があります。でも、そこで働く人が出入りするのを、だれも見ることがありません。ある時、ワンカ氏はチョコレートに入っている金色の券を当てた5人の子どもを工場見学に招待し、一生分のお菓子を贈ると発表します。



雨やどりは すべり台の下で

岡田 淳／作 伊勢 英子／絵 偕成社

スカイハイツの子も達が、公園で野球をしていると、同じマンションの無口でいつも黒い服を着たおじさん、雨森さんが通りかかりました。雨森さんがカサを開いたとたん、雨がふりだし、子ども達は、大きなすべり台のトンネルに逃げ込みました。一郎の「あのひと、やっぱり魔法つかいなんだよ」という発言から、子ども達は、自分が体験した雨森さんについての不思議な話を語りだします。

